

基礎看護学実習のグループワーク発表会を開催しました

1年生にとって、准看護学校以来の初めての基礎看護学実習が終了しました。今回の実習では、看護過程を用いて、患者様の個別性を考え看護を実践するという目的のもとに日々、悩み、考えながら患者様様の看護に繋げていきました。学校でグループ毎に実習の振り返りとまとめを行いました。アセスメント、看護計画の立案、実施、評価という看護過程の一連のサイクルのどれが欠けても患者様の個別的な看護に繋がらないこと、ゴードンの11パートンに沿った情報収集だけではなく、患者様のことを知りたい、理解したいという姿勢で関わることが大切であるという学びを1年生皆で共有することができました。

基礎看護学実習で受け持たせて頂いた患者様、ご家族の皆様、ご協力頂いた病院関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

